

地域おこし協力隊とは

都市地域から町内に転入し、概ね 3 年間の任期の中で地域協力活動を行います。活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、隊員が町内に定住・定着することを目標としています。会津美里町では、地域の課題ごとに協力隊員を配置し、解決に向けて様々な取り組みを行っています。

ツーリズム&地域活性化班

おおき るみこ
大木 瑠美子（愛知県から移住）すがわら はづき
菅原 羽津紀（埼玉県から移住）

町の魅力を発信し、地域を盛り上げる

今年度より、新たに新鶴地域を中心に活動する隊員も加わり、2 名体制で町を盛り上げていきます。

会津美里町ならではの文化や日々の生活の中に潜在する資源を磨き上げ、町の魅力を多くの人に伝えるべく、町民の方々の協力を得ながら、イベントの開催や SNS での情報発信を行っています。

農業担い手班

New
会津美里の農業を守る

ひさみち おさわ
久道 修（宮城県から移住）

新たに農業分野で 1 名の協力隊が着任しました。

担い手不足が懸念される町の農業を維持し、広大な農地を将来にわたり適正に管理していく水稻栽培の担い手として、地域の方々から技術を学びつつ、町全体の農業を盛り上げていきます。

～イベントのお知らせ～

あやめ祭りの開催に合わせ、地域おこし協力隊がブースを出店し、会場を盛り上げます。ぜひ、ブースへお立ち寄りください！

◆日程：6 月 22 日（土）

6 月 23 日（日）

◆時間：9 時～16 時

◆場所：伊佐須美神社外苑

◆内容：本郷焼ワークショップ、
鳥獣用わな実演、キャンドル販売など



鳥獣被害対策班

鳥獣被害から地域を守る

いわお かずき
岩尾 一樹（兵庫県から移住）やべ ひでや
矢部 祐哉（北海道から移住）

鳥獣対策の専門員として、2 名の隊員が活動しています。鳥獣の生息域の拡大や耕作放棄地の増加等様々な要因が複合的に関係し、クマやイノシシなどの野生鳥獣による農作物の被害が深刻化しています。

鳥獣被害対策実施隊の方々と連携しながら、鳥獣対策の知識を深め、町民の皆様が自ら鳥獣対策に取り組めるよう支援を行っています。

会津本郷焼班

みずたに わこ
水谷 和瑚
（会津若松市から移住）さとう まや
佐藤 真也
（宮城県から移住）たけうち ゆうし
竹内 祐志
（徳島県から移住）

地域の伝統を引き継ぐ

会津本郷焼の技術継承を目指し、5 名の隊員が会津本郷焼事業共同組合で技術習得に励んでいます。

歴史ある会津本郷焼の技術を引き継ぎながらも、自由な感性で、ものづくりに取り組み、会津本郷焼を盛り上げていきます。

おおとも さとる
大友 悟（大阪府から移住）ふじしま みずえ
藤島 瑞恵（山梨県から移住）